

セメント・同製品製造業における激突災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	会社構内でミキサー車のドラム内で付着したコンクリートのハツリ作業を行っていたが、ドラムから出て降りる際にステップを踏み外し、右足の脛をぶつけてしまった。しばらく様子を見ていたが、患部が腫れて、うっ血してきた。	46	10~29
2	8~9	製造第三工場で脱型作業中、開口部の内枠を外すため、ハンマーで枠を叩いて押し出そうとした際に、左手が製品の開口部のタイルに接触して受傷したものである。	29	30~49
3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	10~29
5	14~15	工場上屋内で型枠にコンクリートを打設し終わり養生するため型枠の上面に角材をのせてシートで覆う作業時、角材をセットした後、型枠（H2.0m）から降りようとした時にバランスを崩し、転落を防ぐ為飛び下りた。コンクリート路盤上に着地したが、体重と重力が相まって、左足踵骨（かかと）の骨折に至った。	57	10~29
5	16~17	当社工場内において破碎機の運転席から地面に降りようとキャタピラに乗った際、足が滑り勢いよく地面に足を着き転倒し、足首を捻り負傷した。	44	10~29
6	9~10	工場内にて、ハイタッチ型枠締固め作業中、ラジエットにパイプを入れ、締め作業をしていた。ラジエットの切替部分に不具合があり、空回りし、その反動により下に押し付けて指を怪我した。	57	50~99
		生コン納入後、現場から工場に戻り、ミキサー車を洗車するため、ミキサー車のス		10

11	8~9	テップを上った時、足を滑らし飛び降りたが、踵を強く打って負傷した。	48	~ 29
11	17~ 18	コンクリート材料の貯蔵タンク増設場所で、架台基礎のコンクリートの型枠を脱型作業中に足場、手摺りのない不安全な状態の中で高さ1m93cm、幅20cmのコンクリート上部に立って脱型したベニヤ材料の受け渡し中に足元のバランスを崩し、真下への転落を瞬間的に避けようとの思いから、体勢を反転させて地上部（高低差1m25cm）へ自ら飛び降りた、その際、左足かかとを強打し負傷した。原因は安全を確保するための措置を講じていなかったことによるもので、深く反省している。	52	1 ~ 9
12	9~10	工場内で、ショベルで砂を掬うときにタイヤが浮き、その反動で天井に頭をぶつけた。	67	10 ~ 29
12	11~12	事業場内で袋詰め作業を行っているとき、袋詰め機械の紙のずれを直すため、袋詰め機械側に渡り、作業を終えて戻ろうとした際、足場を踏み外してバランスを崩し、袋詰め機械の側面に接触して強打した。	51	10 ~ 29
12	16~17	年末の大掃除で、構内製品工場・第4工場周辺をミキサー車で水を流したあと、車両から降りるときに右足を骨折した。	53	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html